

英 語 科

主任：大森 絵美

(1) 本年度の目標

- ① 基礎・基本事項を定着させ、高い英語運用能力を養う。
- ② 積極的に英語で自分の考えを表現したり、英文で書いたりする姿勢を養うとともに、他の人の意見を聞き取り、それに対して自分の意見を言ったり質問したりする能力を養う。
- ③ 自主的学習習慣を養う。

(2) 主な取り組みの計画

- ①ア 1・2年生ともに、単語帳や参考書の内容を定期試験と学力テストに出題し、基礎・基本事項を定着させ、応用問題にも対応した難しい語彙・文法・語法・構文に取り組みさせる。
イ 3年生は教科書だけでなく多くの演習問題を授業で扱い、大学入試等の実践に即した力を身につけられるようにする。リスニング教材を授業に取り入れ、共通テストに対応する。
ウ バランスの良い4技能習得のために、英検の受験を奨励する。
- ②ア 1年生ではALTによるインタビューテスト、Show & Tell、ミニディベートを実施する。
イ 2年生ではALTによるエッセイライティング、プレゼンテーションを実施する。
- ③ア 1・2年生では自学用の参考書や単語帳をもたせて、定期試験、学力テストにむけ計画的に取り組みさせる。また、週末課題を実施し計画的な学習や家庭学習の充実を図る。
イ 3年生には、夏季休業前に自学自習できる教材を紹介し、夏季休業中に取り組みできるようにする。

(3) 成果

- ①ア 計画どおりに実施し、基礎・基本事項を定着させ、応用力を養成する問題に取り組ませることができた。
イ 3年生では、教科書以外に長文入試問題集、文法・作文演習問題集等を実施し、大学入試に対応した授業をすることができた。
ウ 全学年とも、英検を積極的に受験する生徒が多かった。
- ②ア 1年生は、ALTによるインタビューテスト、Show & Tell、ミニディベートを実施することができた。
イ 2年生は、ALTによるエッセイライティング、プレゼンテーションを実施することができた。
- ③ア 1・2年生では週末課題を実施し、計画的な学習や家庭学習を定着させることができた。
イ 3年生の夏季休業中の教材として多くの生徒が購入し、夏季休業中に取り組んだ。

(4) 課題と次年度以降の改善策

基礎・基本事項の定着のために、教科書以外に語彙や構文を定期テストや学力テストで出題したことに加え、授業でも小テストなどを実施し成果をあげることができた。繰り返し学習することの大切さを、今後も継続的に指導する。授業アンケートの結果によると、学力向上に向けて予習・復習を含めた自主的な学習を進めることの重要性はほぼ理解しているようだが、実際には十分にはできていないのが実情である。学習補助プリントや小テストを活用し、予習や復習を定着させる指導を根気強く続けていきたい。